

芳養公民館だより

未来へつながる道
JUNCTION TO THE FUTURE 田辺市

令和4年1月号 No.460

発行：芳養公民館 館長：小川 鏡 主事：宮畑 直弥

住所：田辺市芳養松原一丁目15-8

電話：0739-22-1429 FAX：0739-23-1909



謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、公民館の運営に深いご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝を申し上げます。

一昨年以来、新型コロナウイルス感染症の影響により、公民館事業が中止となっていました。感染対策を講じながらではありますが、2年ぶりに秋の作品展が開催され、また、体育事業や芳養小学校でのふれあい教室も始まりました。

新たな変異株の出現など、まだまだ先行きは不透明な状況ではありますが、本年も皆様方のなお一層のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

新しい年が皆様方にとりましてより良い年になりますよう祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年 元旦

公民館長 小川 鏡
協力委員長 山本 とし子

芳養地区「成人式」について

今年度の芳養地区「成人式」を下記のとおり開催いたします。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、できる限りの感染防止対策を講じた上で開催しますので、例年とは内容が異なり、新成人の皆様、ご家族の皆様には、多々ご配慮いただく点がございますが、何卒ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和3年11月中旬に芳養地区に住民票を置かれている方々には案内状を送付していますが、芳養地区以外や市外等へ住民票を移されている方で成人式への参加を希望される方は、公民館までご連絡ください。

なお、今後の感染状況及び国・県の動向を踏まえ、成人式の内容等の変更、延期又は中止となる可能性もございますので、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

【日 時】 令和4年1月9日（日）

・受付：午前8時30分～

・開 会：午前9時～

＊式典終了後、写真撮影を予定しています。

【会 場】 芳養大神社

＊雨天の場合、会場は芳養公民館1階大集会室となります。

ファミリーバドミントン大会を開催します

芳養公民館では、下記の日程でファミリーバドミントン大会を開催します。多くの方々のご参加をお待ちしております。

【日 時】 令和4年1月27日（木）

・受付：午後7時～

・開会式：午後7時15分～

＊練習日は、令和4年1月21日（金）午後7時30分～

【場 所】 田辺市体育センター（大屋体育館）

【参加資格】 芳養公民館区在住又は在勤の方

【チーム編成】 ①1チーム3名とする。（2名補欠登録可）

＊原則として地区単位で編成。できない場合は、2地区以内で編成。

②男女の区別はありません。

③学生は小学5年生以上とする。

【参加申込】 1月21日（金）までに芳養公民館までお申込みください。

＊参加申込書は芳養公民館に置いています。

【お問合せ】 芳養公民館（電話：0739-22-1429）



救菜レシピ「総集編第1号」について

3年間にわたり食生活と料理をお助けした「救菜レシピ」を、令和4年3月発行号にて終了とさせていただきます。

そこで今回は、3年間のレシピ総集編第1号を発行しました。

今まで手に取っていただいた感謝の気持ちを込めて、皆様からいただいたアイデア料理を含む数々の人気レシピを掲載しています。

また、ご愛読いただいた皆様からの感想もお待ちしております。レシピ最終ページに添付していますメッセージ用紙にご記入の上、公民館の玄関ロビーに設置の「感想ボックス」にご投函ください。皆様のお言葉をスタッフ一同楽しみにしておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

お問合せ：やすらぎ対策課 高齢福祉係（電話：0739-26-4910）

1月の古紙回収予定日【第1・第3 火曜日】

4日（火）・18日（火）

◎当日の午前中に、芳養公民館前の駐輪場スペースに出してください。

◎回収できるものは雑誌・新聞・ダンボールです。

◎必ず紙ヒモでくくってください。

※回収日以外は、回収できませんので持ち込まないでください。



芳 養 小 学 校



令和3年度

第9号

健・考・和

文責 木村 真由美

TEL 22-1422

一年の計は元旦にあり

年末年始は、「一年の計は元旦にあり」という言葉をよく耳にします。一般的には「一年の計画は年の初めの元旦に立てるとよい。物事を始めるには、最初にきちんとした計画を立てることが大切だ。」という意味ですが、この言葉の意味や由来はいくつかあるようです。

一つは、三本の矢で有名な戦国武将・毛利元就の言葉という説、もう一つは「月令広義（げつれいこうぎ）」という中国の書物の一節という説。この二つの説が有力といわれます。

～ 毛利元就の言葉 ～

一年の計は春にあり

一月の計は朔（ついたち）にあり

一日の計は鶏鳴（早朝）にあり

毛利元就は何事も最初が肝心であるということを意図したといえます。

～ 「月令広義」の一部 ～

一日之計在晨 一日の計は晨（あした・朝の意）にあり

一年之計在春 一年の計は春（新年）にあり

一生之計在勤 一生の計は勤にあり

一家之計在身 一家の計は身にあり

一日は朝の気持ちの在り方で決まり、一年は年の初めの決意で決まる。人生は真面目に勤めることで決まり、一家の将来は身の振り方（生き方）で決まる、という意味です。

「一年の計は元旦にあり」の由来や意味を知ると、感慨深いものがあります。一年のスタートという節目は、何か新たな目標や計画を掲げていくのにとても適した機会です。昨年までのことは、それとして、リセットしたすっきりした状態で、新しい年をどのように過ごしていくか、どうなっていきたいか、子供と一緒にご家族で話し合ってみてはどうでしょうか。

三日坊主でも大丈夫！

ほとんどの人が行動を始めること以上に「続けるのが難しい」と感じていることが多いといえます。私も、決意した目標を続けることができずに、すぐにやる気をなくしてしまうタイプの人間です。何かを「続ける！」と決めると、完璧にやりたくなりますが、すぐにさぼってしまい、自己嫌悪に陥ってしまいます。

ある時、「三日坊主も100回すれば300日になる。」というお話を聞いて「なるほど！！」と思いました。あきらめないで、「三日坊主を何回もやる」ことが大事だということです。

新しい年が皆さんにとって良き年となりますようお祈り申し上げます。

大 坊 小 学 校



清く 高く のびのびと 1月号

～子どもの姿に成長が見える学校をめざして～

明けまして おめでとうございます

令和4年が幕を明けました。コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、ここ2年間は、大変な日々が続いています。今年こそは、早くコロナウイルス感染症が収束して普通の生活を取り戻し、希望に満ちた年にしたいですね。

クリスマスツリーづくり

12月7日に、1・2年生は千葉浩志氏をお迎えして、クリスマスツリーを作りました。

焼き杉の台の上に置いた緑に着色したマツボックリのツリーに、色紙粘土でつくった飾りをつけていきました。

サンタやプレゼントのほかに、ハンバーガーやピザをつけた子もいて、楽しいツリーができました。

聴覚障がいの理解学習をして

12月10日に、3・4年生が岡部さん夫妻をお招きして、聴覚障がいの理解学習をしました。岡部さんから簡単な手話や生活の中で不便なことを教えていただいたり、小学生の時の生活をお聞きしたりしました。動物を表す手話は、動物の特徴を表していることも分かり、手話を身近に感じました。

最後に岡部さんがおっしゃった「いつでもどこでも誰とでも手話で話せる世界になることを願っています。」という言葉が印象的でした。

勤労体験学習をして

大坊小学校では、6月と12月の農繁期の土日に、勤労体験学習に取り組んでいます。みかんに関する仕事のほかに、家事やお父さんのお店の手伝い、おじいさんの家の農作業の手伝い等、自分ができる仕事を見つけてお手伝いをしたようです。

エアーホッチキス

今日は、エアーホッチキスをしました。みかんの箱に、ガシャングシャンとやりました。10キロと7.5キロと5キロをエアーホッチキスでガシャングシャンとやりました。しんどかったけど、やってよかったです。（2年生）

みかんのせんか

夕方に、倉庫でみかんのせんかをしました。ころがってきたみかんを、傷のあるみかんと、くさっているみかんと日焼けでかたくなっているみかんと、大きいみかんと小さいみかんに分けました。ゆっくり考えていると、ころがって農協のコンテナに入ってしまうので、早く考えるのがむずかしかったです。家の人はこれを毎日続けているので大変だと思いました。（3年生）

明 洋 中 学 校



「自主・自律・連帯」 1月号

～あけましておめでとうございます～

地域・保護者の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては健やかに新春をお迎えのことと存じます。また、旧年中は本校教育の充実にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。本年も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

さて、今年は寅（虎）年です。虎は力が強く、足も速いことから「獣の中の王者」としてよく用いられます。そういうところから寅年生まれの人には前向きでチャレンジ精神が強く、どんなことにも強い信念をもって挑んでいく傾向があると言われています。明洋中学校としても、今年一年チャレンジ精神をもって進んでいきたいと思ひます。ご協力よろしくお願いいたします。

◇感動の文化発表会！

11月23日、本校で文化発表会を実施いたしました。本年度もコロナウイルス感染症の予防のために、工夫しての実施となりました。午前中は、保護者の方に来ていただき、各学年の発表と作品展示の参観をしていただきました。午後は全校生徒が体育館に一堂に会し、ブラスバンド部の演奏と「劇団 MEIYO」の演劇発表を観ました。特にブラスバンド部はこの演奏をもって3年生が引退するとあって、気持ちのこもった演奏を聞かせてくれました。また「劇団 MEIYO」を演じた3年生は、修学旅行が10月に行われたことで練習時間が少なく大変でしたが、精一杯やりきってくれ、感動の演劇となりました。

- 1年生 合唱発表
「君をのせて」「遙か」
- 2年生 学習発表
「SDGsについて」
- 3年生 演劇発表
「グッバイ・マイ」



◇虎に関する「ことわざ・慣用句・格言」

「虎穴に入らずんば虎子を得ず」
虎の子を得るためには、危険をおかしてでも虎の住む穴に入らねばならないことから、危険をおかさなければ大きな成功や功名は得られないというたとえ。
「虎視眈々」
虎が獲物を狙うようにじっと機会をうかがう様子。
「虎の尾を踏む」
噛み殺されるかもしれない恐ろしい虎の尾を踏みつけるような非常に危険なことなどのたとえ。
「虎の威を借る狐」
他人の権力に頼って、威張る小者のこと。英語では「ライオンの皮を羽織ったロバ」が同義。
「虎の子」
虎がその子を大事に守り育てることから秘蔵とする金品など大切にしてお手放さないもののこと。
「虎は死して皮を残し、人は死して名を残す」
虎は死んだ後その美しい毛皮が珍重され、人が死んだ後に後世に名前を残すような生き方をすべきという教訓として言われるたとえ。